

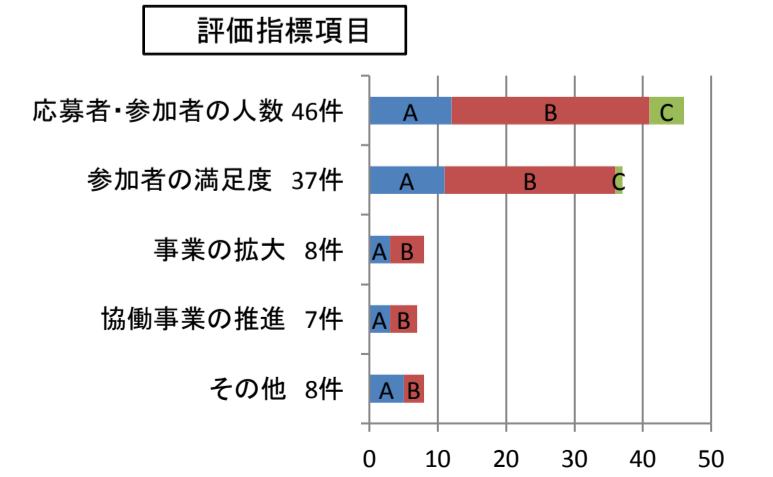
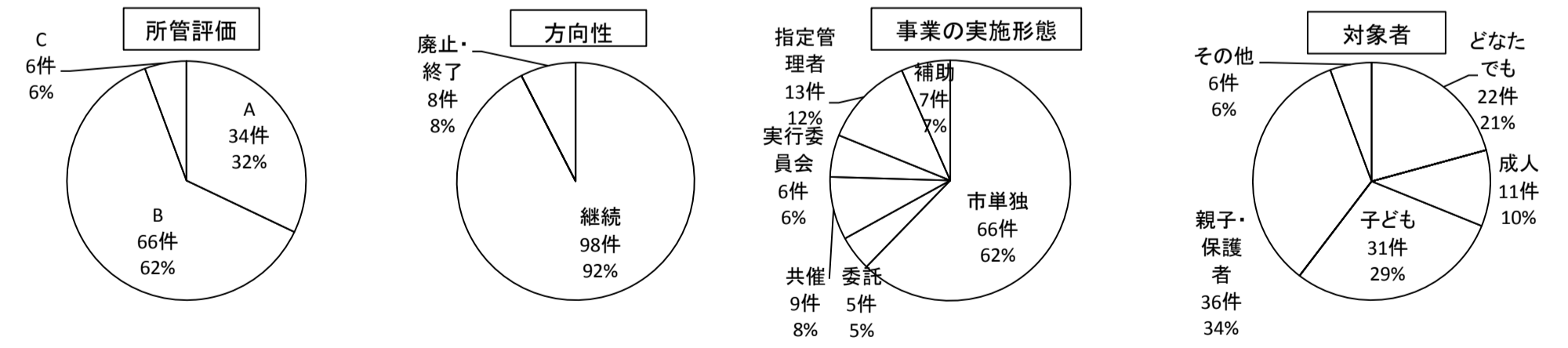
平成28年度八王子市生涯学習関連事業評価シート

基本施策1 子どもの頃から始める学びの基礎づくり

生涯学習関連事業106件

<p>【施策の方向性】 子どもは成長過程のさまざまな機会ですさまざまな人々と関わり、人間関係や社会での経験を積み重ねることで、生きる力を育みます。市民が生涯にわたって学び続け、学んだ成果を社会で活かすことができる生涯学習社会の実現のため、人間形成の基礎となる幼児期や学齢期のうちから、学びの基礎・学ぶ習慣を身に付けることが重要です。 子どもたちが健やかに育ち、豊かな人生を歩むための基礎づくりとして、家庭での教育を支援し、今まで以上に学校と地域が連携し、多様な学習機会を提供していきます。</p>	<p>【現状と課題】 子ども科学館、生涯学習センター、児童館など、さまざまな所管が各種講座や自然体験のほか、スポーツイベントなどを実施し、子ども・親子に学習と体験の機会を提供しています。子ども家庭支援センター、保健福祉センターでは、親子を対象に家庭での教育を支援する講座を実施しています。また、市の施設や市内の子育て応援企業における職場体験・職場見学など、社会を学び、職業観を養う取組を学校と連携して行っています。そして、保護者や地域、学校が連携して「放課後子ども教室」を実施し、放課後の子どもの安全・安心な居場所を確保するとともに、地域の方の協力により学習活動にも取り組んでいます。 今後は、地域や市民団体、NPO法人、学校、企業などと新たな連携・協働を図り、地域とつながる学校づくりを支援し、子どもたちや家庭に対し、一層充実した学習機会を提供していく必要があります。</p>
---	--

施策の展開	平成28年度の主な取り組み
<p>①生きる力を育む子どもの学びと体験の充実 40件</p> <p>市は、さまざまな分野の講座、自然体験、スポーツイベント、作文や絵画のコンクール、海外交流・都市間交流、食育推進活動などを通じて、子どもたちに多様な学びと体験の機会を提供します。また、環境問題や国際理解など、現代的な課題を扱った学習機会を提供し、子どもたちが持続可能な社会の担い手となるようESDにも取り組みます。事業の実施にあたっては、地域の大学との連携をはじめ、市民の持つ知識・技能を活かし、協働による学習機会の充実をめざします。</p>	<p>上柚木公園陸上競技場では小中高生を対象とした各種スポーツ競技の講習会を開催しました。体幹・筋力アップにつながり、競技のコツと競技に真剣に取り組む姿勢を学ぶことができました。戸吹スポーツ公園や長池公園では、【自然観察・クラフト教室】や【子ども科学教室】を指定管理者との共催により実施し、環境問題や科学教育に触れる機会を子ども達に提供しました。 また、小学校32校が参加し、小学校を会場にした【親子料理教室】を開催しました。夏休みに親子で地元産の野菜等を調理し、健康的な食生活への実践力を育てることができました。 【中学生ボランティア体験】や【夏休み体験ボランティア】では中学生から30歳前後の方が参加し、ボランティア活動体験を通じて人々が助け合うことの大切さを実感することができました。</p>
<p>②家庭教育の支援 38件</p> <p>家庭内のルールづくりや年中行事を通じて家族の絆を深め、家族の会話やコミュニケーションを大切に取る取組を推進するとともに、子どもたちが家庭で基本的な生活習慣・学習習慣を身に付けられるよう、子ども家庭支援センターの子育てひろばや、保健福祉センターをはじめ、市のさまざまな施設で家庭教育に関する講座・講演会を実施します。 また、親子で楽しみながら学ぶことができるイベントや、保護者の学びを支援する学習機会の拡大を図り、子育てサークルなど多様な場を活用し、家庭への効果的な支援を充実させます。さらに、教育・保育施設や学校など、保護者が集うさまざまな機会を通じて家庭教育についての啓発を推進していきます。</p>	<p>【家庭教育講座】【家庭教育自主グループ支援】【子育て応援ひろば】を実施し、子育て世代が集える機会、学べる機会、悩みを共有できる機会を提供しました。また、【夏休み親子チョコレート教室】【親子でトライ!キャンプ場で楽しむ野外料理作り】など親子で楽しみながら会話し、創作する機会を提供しました。 一方で【リーフレット「八王子の家庭教育8か条」】を市内小中学校の児童生徒及び市内幼稚園、保育園に通う5歳児・年長クラスを対象に配布するとともに、市広報では8か条を家庭で実践する具体例を紹介しました。 【ブックスタート】【三歳児健診読み聞かせ】では保健福祉センターにおける健診会場で読み聞かせを行ったり、絵本を配布し、本を通して親と子がふれあい、継続的に親子で読書に親しむきっかけづくりをしました。</p>
<p>③学校教育活動の支援 12件</p> <p>学校における子どもへの教育は、教員が実践するだけでなく、保護者や地域のボランティア、企業、大学、市の生涯学習施設などによる教育活動支援が必要です。教育支援人材バンクのボランティアによる学校支援、企業や大学の持つ専門性を活かした教室などを実施するとともに、これらの取組が機能するためのしくみづくりを進めます。</p>	<p>中学校教員、税理士等を交えた実行委員会により作成した【中学校社会科学習資料わたしたちの生活と税金】を全中学3年生に配布し、研究授業も実施することで租税教育の向上に寄与しました。また、小学4年生に対しては【八王子の川と友だちになるノート】を配布しました。川での環境調査や生き物調査を行うためのフィールドノートとして活用しました。 【学校図書館サポートセンターとの連携・支援】では、学校図書館が市図書館から資料を借り受け、学校図書館での調べ学習・学級文庫の充実につなげました。</p>
<p>④地域の教育力を活かす・高める 16件</p> <p>保護者や地域、高齢者、NPO法人などの参画により実施する放課後子ども教室、大学や企業と連携した子どものためのイベントや学習機会の提供など、八王子の地域全体で子どもの学習・体験活動を充実させます。放課後子ども教室の実施にあたっては、国の『放課後子ども総合プラン』に基づき、学童保育と一体的・連携した運営により、学校施設などを活用した放課後の子どもの安全・安心な居場所づくりに取り組みます。 これらの取組の拡大により、地域の教育力がさらに高まり、おとなたちのつながりや世代間交流が生まれ、地域の結びつきが深まることをめざします。</p>	<p>【夏休み子どもいちょう塾】は八王子地域の大学等の先生が、夏休みの特別教室としてプログラミングや裁判员制度についてなど、所属する大学・学部等の特色を生かした講座を開講しました。子どもが学ぶことへの関心・意欲を高めるとともに地域の大学に興味を持つきっかけとなりました。【学生企画事業補助金】事業では、大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が、八王子地域を舞台に企画・運営・実施するイベント等の支援を行いました。 【キッズパトロール隊防犯教室】では青色パトロールカーに乗車して特殊詐欺被害防止を呼びかけるチラシ等の配布により、児童及び生徒の防犯意識を高めました。</p>



生涯学習審議会評価

「学びの基礎づくり」とあるように、多くの体験的、入門的な講座が開設されている。自然体験を重視したアクティブな学習に特徴が見られ、子どもが学ぶことへの興味関心・意欲を高める機会が提供できたと考える。

事業評価については、「満足度で評価するように」との審議会委員としての意見も多いが、この施策については、事業の目的である市民(特に子ども)に、いかに多くの体験の場を提供できるかにある。そのため、実施所管においては「子どもの頃から始める学びの基礎づくり」にふさわしい内容であるか、体験・入門にふさわしい内容であるか、ということについて自己検証をされたい。

この基本施策における各事業については、参加人数だけを評価の指標にするのではなく、著しく参加者が少ない事業を除き、基本的には継続してほしい。